

えいしょうざん

No. 37

うらばんえ とお
子蘭盆会 遠きゆかりと ふしむ

今年の春から初夏にかけて異常気象と言えるような低温と高温が繰り返す毎日が続きました。風邪を惹く人が多かったと聞きます。

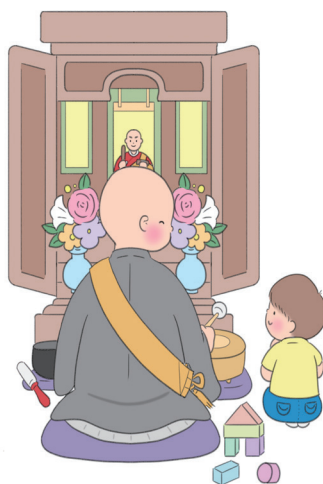
立光寺では、7月26日から京阪神のお盆の棚経に始まり、8月1日から毎日、地元の棚経が続き、8月16日には盂蘭盆大施餓鬼会を奉行してご先祖様、亡き親しい方の御霊を霊山浄土へお送りする法会をもってお盆の行事が終わります。

暑い季節だけに、皆さまのお家へお伺いした挨拶の定番は「暑いですがな〜」がほとんどです。いつも思うことですが、なぜお盆はこのような暑い季節に行われているのか？ということです。

お盆の行事のはじまりは、お釈迦様がお説きになられた「盂蘭盆経」から始まったと伝えられています。

お釈迦様には6人の大弟子がおられました。そのうちの1人に目連尊者という方がおられ天眼第一の神通力というこの世の中の総ての物を居ながらにして遠くであろうと近くであろうと全て観察できるという超能力を持っておられました。

その神通力を以て、亡くなったお母さんの

たかはまきよし
高浜 虚子

青提女の後生(亡き方の行く末)を観察してみることになりました。

するとお母さんは仏の世界におられたのではなく、餓鬼の世界に落ちておられました。

目連尊者は深く心が傷つきました。私はお釈迦様の弟子になって、たくさんの修行を重ねたのにどうしてお母さんが餓鬼道に落ちてしまったのか。お母さんを助けたい。絶えるような思いでお釈迦様にお尋ねしました。

お釈迦様は、目連尊者の悲しそうな目をじつと見て「お母さんは生前、おまえを育てるために物を惜しみ、人を助ける布施行をしなかった。その付けが今になってお母さんの身に降り懸かり、このような姿になっている。おまえはこれから安居といって梅雨の長雨

発行所 栄昌山 立光寺

豊岡市日高町江原28番地

〇七九六―四二一〇四一八

編集者 堂前 貴修



の間、建物の中で修行している数多くの僧侶を訪ね、修行が終わるのを待って、7月15日に数多くの僧侶が満腹になるように食事を提供しなさい。そしてお題目を唱えてお母さんの成仏をお祈りしなさい」と教えられました。

目連尊者はお教えのとおりにお母さんに代わって僧侶への布施行を行いましたところ、たちまちに成仏され仏の世界へ導かれたのが「盂蘭盆経」に記されています。

立光寺では、旧暦の7月は今の暦では8月。15日から1日遅い16日に盂蘭盆大施餓鬼会を営んで、新盆の仏さま、檀信徒の皆さまのご先祖様、そして全ての諸霊位を御供養する法会を営んでいます。

暑い暑い盛夏の午前10時から正午まで、約2時間の長い法要にも関わらず、最近は人数が少なくなりましたが、約80数名の檀信徒が参列されてご先祖様親しい亡き方の菩提を弔っておられます。ご苦勞様でございます。

そのように大施餓鬼会にお参りされるということは、子孫の心の優しさから表れる御供養と、ご先祖様に守られているという安心感が一体となって素晴らしい法会が行われている

仏にある家庭には仏あり

菩提寺の行事に参加して
家庭信仰に励みまじよう

るのかもしれませんが。

人が亡くなることは、姿を見ることなく、言葉を聴くことはありません。私たちは後生を訪ねることを思っても目連尊者のように探る術を使うことができません。

明治時代の俳人で正岡子規の弟子となり、師匠の没後、日本の俳壇を導かれた高浜虚子さんは、目連尊者の母の餓鬼供養を遠きゆかり(縁)となぞらえ、ふ(伏)し拝むとお盆の俳句を詠まれました。

目連聖人は、「目連尊者が法華経を信じまいらせし大善は、我が助仏になるのみならず、父母仏になり給ふ。かみちだしむちだ、かみちだしむちだ、上七代下七代、上無量生下無量生の父母等存外に仏となり給。乃至子息・夫妻・所従(従業員)・檀那・無量の衆生、三惡道(地獄道・餓鬼道・畜生道)を離るるのみならず、みな初住(はじめから)妙覺の仏となりぬ。故に法華経の第三(譬喻品)にいわく。願わくばこの功德をもって、我等と衆生と皆ともに仏道を成ぜん」と「盂蘭盆御書」で教えられます。

目連聖人は、目連尊者が法華経を御信心され、南無妙法蓮華経とお題目を唱えられたことが何よりも大善であったとおっしゃいます。どうぞ真心を込めてお盆の行事を営みましょう。あなたと私の 尊いのちに 合掌

立光寺納骨堂の建設がはじまります



赤い枠の範囲で納骨堂が建設されます



赤い枠の中は本堂のお花の準備とお茶接待用の水屋ができます

9月1日から、本堂北側の外廊下を改造して納骨堂を建設いたします。庭園を少し改造して本堂の大屋根の下に収まる設計です。お骨を納めるロッカーは80余基。現代の

本年の棚経日時のお知らせ

8月はお盆の行事を迎えます。今年も7月26日から棚経のお参りをいたします。日程は左記のとおりです。どうぞ御協力をお願いしますようお願い申し上げます。

7月26日 姫路
7月27日 福知山・亀岡・西神・垂水・須磨
7月28日 尼崎・池田・豊中・箕面・滋賀
枚方・奈良
7月29日 羽曳野・狹山・泉北・大阪市内

様々な永代供養・墓地の問題などの様々なニーズに対応します。年内には完成の予定です。できあがった建物をご覧いただきお気軽にご相談ください。

7月31日 和田山
8月1日午前中 栃本・名色・万場・稲葉
太田地区
8月2日午前中 東構・弥布・久斗・夏栗
道場地区
8月3日午前中 宿南・町・寄宮・上小田
伊佐・八鹿地区
8月4日午前中 出石・豊岡・丹後木津
府中新・府市場地区
8月5日午前中 実相寺棚経 十二所地区
8月6日午前中 実相寺棚経 十二所地区
8月7日午前中 実相寺棚経 広谷地区

7月23日 日曜 午後7時
除厄開運の神さま ご祈禱会
せい しょう こう たい さい

清正公大祭

日高町江原 立光寺

清正公大祭は、立光寺護持会役員の皆さまの御協力をいただいで金魚すくい・ヨー釣りなどのイベントを本年も行います。檀信徒の皆さまには、お誘い合わせて御参詣下さいますようご案内申し上げます。



8月8日午前中 国分寺・水上・山本・土居
奈佐路地区

8月9日午前中 日吉・日置・多々谷地区

8月10日午前中 鶴岡地区

8月11日午前中 宵田・岩中地区

8月12日午前中 江原区（半分）
西気通を境として南側

8月13日午前中 江原区（半分）
西気通を境として北側

諸般の事情で予定の時間に遅れることがあります。事前遅刻等のご連絡をお願いします。ご了承くださいますようお願い申し上げます。

秋季彼岸会
9月22日午後3時

「お施餓鬼ご案内」について
「添施餓鬼塔婆申込み」は、8月13日の締め切りですが、準備の都合上、お早めにお申しいただければ幸いです。よろしく御願い申し上げます。

慈母親世音菩薩祭礼
日時 令和6年10月12日午後2時
※ 本年から信行会と一緒に勤めます

但馬信行会
日時 令和6年10月6日（日）午前10時
会場 豊岡市日高町観音寺 妙福寺
参加費 2000円（お供え）
信行 法話・唱題行・和讃
※法話の講師は實相寺住職堂前智洗上人です
参加希望の方は、9月22日（日）までに立光寺へ御連絡下さい。

日蓮宗新聞購読料
日蓮宗新聞をご購読をいただいている皆さまから、購読料、3600円（年額）を徴収させていただきます。
お盆までに御納入くださいますようお願いいたします。